

島根県公立小中学校
事務職員研究会

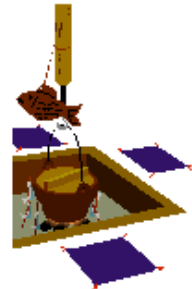
会長：林 由里
(松江市立美保関中学校)

編集：広報部
VOL.40 2010.12.12(時雨号)
発行責任者 川本中学校 福井義信
島研ホームページ
<http://www.sh-net.com/~kenjiken/>



【目次】

- ① 「優しさ」に溢れる教育を(県教育長)
- ② 特集「共同実施」(邑南町の取組)
共同実施に関わって
- ③ 県大会参加者の感想
- ④ 人権コーナー
- ⑤ 選択研修あれこれ
- ⑥ 全国大会に参加して
- ⑦ 事務歳時記
- ⑧ 学校財務ウイークに…
- ⑨ まんが「フォーちゃん」
- ⑩ 編集後記



「優しさ」に溢れる教育を

島根県教育委員会教育長 今井 康雄

明治維新という時代変革の思想的支柱となった吉田松陰。堅物で厳しい教育者と思われがちであるが、実は決して人の悪口を言わない、誰にも敬語を使うような人物だったという。牢の中では、仲間の特技を引き出しながら各々を何某かの先生として敬い、また松下村塾の弟子たちに対しては、欠点は言わず、必ず長所を見つけ、それを助長することにより彼らの才能・力を伸ばした。一介の田舎の教育者の下から、高杉晋作をはじめ天下を動かす幾多の人材が輩出された所以である。司馬遼太郎は、こうした松陰を「優しさ」に溢れた人物と評した。

さて、私は、この4月教育長に就任したが、子どもたちの育成において目標とするところは、

- ① 一人一人に応じて、知る喜び、学習意欲、運動に親しみを感じさせ、子どもたちの持っている力、可能性を最大限に引き出す教育
- ② 子どもたちに集団の中での決まりを理解させ、役割と責任を自覚し、協調性や思いやりのある行動ができるようにする、言い換えれば、将来、社会人として常識ある生き方のできる人間に育てる教育
- ③ 体験活動等を通して、ふるさと島根の歴史、文化、自然を実感できる教育 等である。

翻って、今の時代をみると、他人の欠点・失敗をあげつらい、他人・弱い者を徹底的に攻撃する風潮、移ろい無批判に一つの方向に流れやすい世評、効率優先で自分さえ良ければという人々の増大等々、強い自己主張が目立つ反面、他人の良さを見つけ、温かく包みこむ雰囲気が大変薄くなったように感ずる。目標とする教育を実現するには、なかなか難しい世の中になったものである。

そこで、松陰である。やる気を起こしつつ、その力を引き出し人材の育成を図っていく、そうした人材育成術は、私の教育目標の実現に参考になりそうである。「ほめてやらねば人は動かじ」である。

もとより、単なる甘やかしとは異なる。目標をしっかりと定めると同時に、その者の人格を認めつつ能力・才能を把握する優れた人物鑑定眼が必要であり、厳しさと共に忍耐力もいる。自らを省みて汗顔の至りであるが、子どもたちの教育にとどまらず、職場の人材育成においても、この「優しさ」に十分留意したいものだ。

学校事務を司る皆さん方には、日々学校現場で様々な課題に取り組む中のご苦勞されていることと思う。教育・学校を取り巻く環境は今後ますます厳しくなると思われるが、先生方と共に島根の教育の発展のために更なるご協力をお願いする。皆さん方のますますのご活躍を祈っている。



特集
共同実施

邑南町の取組み

※ 加配のない共同実施4年目 ※

羽須美中学校 山口英里

夢持て
知恵出せ
元気出せ!!

「加配が無くてもとにかく動こう」と、事務職員側から町校長会や教育委員会で、共同実施組の目的である「学校事務関係者が連携・協力して業務を行い、学校事務部門の充実・強化させることで、学校の教育力向上に寄与すること」について、熱い思いを語ったのは、平成19年2月のことでした。そして、翌年の6月には「第1回共同実施連絡協議会」を開催し、組織を確立することができた。

推進委員会（リーダー2名・サブリーダー2名・教育委員会担当者・事務局）で年間計画の協議を行い、2つのグループが、財務領域と総務領域に分かれ、テーマを掲げ、3年間で次のような取組みを行った。

＜3年間の取組み＞



- ① 諸規程やマニュアル整備・財務取扱規程・文書取扱規程・就学援助事務の手引き他
- ② 情報の共有 ……人材バンク、事務便りの配布（人事異動、検認、年末調整、給与他）
- ③ ネットワーク環境整備 ……教育委員会と文書共同受付システム、事務専用ホルダー他
- ④ 財務システムの改善 ……校外教育活動バス運行、予算要求資料統一、保護者負担軽減

＜成果と課題＞

- 規程やネットワーク環境の整備により、事務業務の資質向上と効率化に繋がった。
- チームで仕事をする中で、事務職員間の連携が図られた。
- 教員の負担軽減には繋がっているが、事務職員の業務量が増えた。
- 共同実施会の活動が、教員や管理職に充分理解されておらず、事務職員と教育委員会との連携を強化する活動ととらわれがちである。

4年目の取組み

推進委員会で評価項目の観点の協議を行い、教育委員会や管理職・事務職員を対象に評価を実施し、回答ポイントが60%以下の課題については、PDCAサイクルで次年度に繋げている。各校の課題は共同実施会の課題と捉え共同実施会組織で支援している。課題の共有化やグループ会活動での作業等を通して改善に繋げている。校内では管理職や教職員と協働することにより、学校経営への参画を目指している。

平成22年度 邑南町共同実施 組織と運用図

明日を夢みる 元気いっぱいの
子どもたちを育成するための教育支援



最後に

学校教育が多様化する中、新学習指導要領が来年度より実施される。教員・事務職員も多忙化する中で、管理職の協力体制を得てお互いに協働し、1校1名配置である事務職員が一つになって共同実施組織を活性化させたい。そして、邑南町の子どもたちのために、事務職員が夢を持って知恵を出しあいながら、12校と教育委員会の連携を大切に、元気の風を吹かせていきたい。



教育委員会担当者の声

まず、本町の学校事務職員の皆様は、実に研究熱心であり、工夫を凝らし、真面目に事務処理に取り組んでいただいております。誠に感謝しています。

本町の学校事務共同実施は、学校事務職員から声上がり、平成19年度に学校事務共同実施協議会が発足し活動を行っています。平成22年度目標は、「明日を夢みる元気いっぱい子どもたちを育成するための教育支援」として、学校経営や教職員の支援となるよう学校事務の効率化を進めています。

平成20年度までに文書管理規程、財務取扱規程の整備や各種システムの整備を行いました。平成21年度からそのルールに基づき、システムを利用して事務処理を進めていますが、事務処理の効率化はこれからという状況です。

町教育委員会としては、共同実施で行うことと、学校単独で行うことの棲み分けを行い、真に事務処理が容易にできるようになることを望んでいますし、そのための支援を行っていききたいと思います。

島南町教育委員会 学校教育課 係長 三上和彦

教育活動の円滑な推進を期待する時、教育の「指導」と「支援」とが車の両輪の如く進む必要があります。両輪ばかりに目が向きやすいですが、「指導」と「支援」とを繋ぐものの存在こそが最も重要であり、その具体の一つである学校事務共同実施について、管理職をはじめ、それぞれの立場から改めて考えてみるのが大切だと感じます。

市木小 校長 山口和芳

学校管理職の声

島南町の学校事務共同実施会が発足してから4年目を迎えた。年度毎に目標を明確にして実践の評価を積み重ねることで、年々充実した共同実施が行われてきた。今後とも夢を持ち、知恵を出し合って継続した実践を行い、一層の充実を図っていただきたい。

高原小 校長 大隅 隆

町教頭会と学校事務共同実施会の合同会を今年度これまで3回開催しました。学校では隣の席でよく意思疎通を図っているつもりでいても、見えていない部分が多くあることに改めて気づきました。共同実施会は町内各校の事務の整合性、効率性を図ることの他、事務職員さんの相互の研修的役割を果たしています。広い視野からの関わりをしていきたいと思っています。

羽須美中 教頭 樽田真治

「統一した事務処理を！」の課題は、今は定着をめざし個々の技量に合わせ進めている。日々、学校運営組織への参画と、様々な情報の処理等で時間に追いかけるが、一人職だからこそ、責任と確かな判断が重要になる。今、校内での教職員との協働体制をつくり、課題に取り組める環境を整えていかななくてはならない。

高原小 事務リーダー 三上登喜子



共同実施会に出かけ学校を留守にする。共同実施会の分担作業をする。効率化といいつつ学校の日々の業務に影響は出ないか？他の職員に迷惑をかけるはないか？そんな問いかけを自分にしながら取り組んでいる。共同実施のメンバー以外にも「共同実施が行われていて良かった！」といわれるようにしなければ・・・

市木小 事務主幹 向井佳代子

事務職員の声

共同実施により教育委員会を巻き込んだ事務処理の効率化や、意見交換の場が毎月数回あることにより、スムーズな連携が図られているので、日々楽しく取り組んでいます。今後は、この効率化が学校全体に及ぶように努めることと横の連携を大切にしていきたいです。

矢上小 主事 野上 佳

講演では、「事務のための事務で終わらせず、学校の一人ひとりが一つの目標に向かって行動を起こせるよう事務職員の方からしかけていくことが大切。」というお話をうかがい、子どもの成長を願いまた一歩前進しなくては・・・。「いくつになっても、知らんことばかり、しとらんことばかり、今日が始まりの気持ち」でいこうと思いました。

(益田管内 Sさん)

事務職員も年間指導計画の内容を十分に知っておく必要があり、教員と事務職員は密接につながっていることを改めて感じました。

また、資料の事務職員の年齢別人数構成のグラフに大変興味を持ちました。自分の年齢と同じ年齢の方が少なく驚きましたが、数少ない〇歳としてがんばっていこうと思いました。

(鳥井小 永田亜由美)

県大会参加者の感想

第41回島根県公立小中事務研究大会が11月5日、グラントワ(益田市)を会場に開催されました。

- ◆行政説明(義務教育課)
- ◆講演「学校の教育力を高めるカリキュラムマネジメントと学校事務」岡山大学大学院 高瀬淳准教授
- ◆全事研大会中間発表(県研究委員会)
「動き出せ！新しい『学校づくり』へ」
- 教育課程づくりへの参画を通して -



先頃、来年度予算要求のために、新学習指導要領をかなりじっくり読みました。今年の県大会では、その新しい指導要領にそった教育課程で使用する教材を考えるポイントを示していただいたように感じました。

(出東小 奥井千春)

今回の本大会への参加には目的がありました。

1つめは、研究発表です。全事研に向けてどのように研究を進めておられるかを知りたいと思いました。

2つめは、高瀬先生の講演です。3つめは、鳥取大会のピーアールです。来年は、是非、是非お出かけいただき、一緒に研究を深めていただきたいと思います。

思いに違わずとても充実した1日でした。いろいろとお心遣いありがとうございました。

(鳥取県岩見北小 大坪順子)

人権コーナー

相手の立場に立って

六日市小学校 徳屋真美

私は、この人権コーナーのお話を聞いたとき、「人権」ということを改めて考えました。日頃、「人権」を意識しているのだろうか、相手の立場になって考えているのだろうか、普段から、意識していなく、気を付けているつもりでも自分の言葉や行動で誰かを不快にさせてしまっているのではないかと改めて自分自身に問い直す良い機会となりました。

中学生の頃、友達とその場にいない子のことを話していた時に、ある友達に、「自分がいないところで自分の話をされたら嫌じゃない？嫌な人だっているんだよ。」と言われたことがあります。その時は、「別に悪口を言っているわけじゃないからいいじゃん。」と思い、あまり深く考えていなかった自分がいました。しかし、その後、逆に自分が言われる立場になったとき、とても嫌な気持ちになったこと、そして友達に言われても気づかず、自分が嫌な気持ちになって初めて気づいたことに恥ずかしく思いました。その時初めて相手の立場になって考えることの大切さを学んだことを思い出しました。

学校事務職員として学校で働くようになって三年目になり、日々の学校生活の中では、子どもや保護者の方などいろいろな人たちと接する機会が多くあります。そんな人との関わりが多い職場だからこそ、いつでも相手の立場になって考えられる人でありたいです。



プレゼンテーション講座



古志原小学校 今岡 章雄

初日は事前課題「いま、私をもっとも伝えたいこと」について個人でのプレゼンとそれに対する聞き手からのコメントを反映し、何度も繰り返してみようという内容。2日目は事前課題「島根県が誇れること」について、グループ別でそれぞれが持ち寄った題材について協議と調整をしながらプレゼンを作成し、全体での発表と評価でした。

プレゼン時の好感をもたれる態度は勿論、講義を受けた内容を取り入れながら常に聞き手に語りかけるよう「アイコンタクト」をとることに注意し情報を伝えることが大切です。更に、聞き手の「態度変容」・「行動喚起」を促すことを目標に実習しました。納得を引き出すための理論構成を考えながら話すこと、共感を得るための魅せるプレゼンをする事（特に、非単語：「えー」「あー」等々…は禁物）との葛藤の中で苦しみました。いきなり講師から指名され講義内容についての復習的な回答を求められたり、とても油断できない2日間でした。

あなたも行ってみよう!

選択研修あれこれ

創造性開発講座



福波小学校 岡 里恵

創造思考や革新的なアイデアの出る技法（発想技法）を、いくつかの演習（個人やグループ）を通して学び、創造的な解決手段を創出する力を身につける。という内容だった。

「創造というものは先天性のものではない。」という言葉に支えられつつも、脳トレのような演習には、自分の頭の固さを思い知らされた2日間だった。

グループ演習では、自分のアイデアを伝え、他者のアイデアを引き出すことの難しさを痛感した。

今回の研修を、学校事務に生かすには、まず「情報を知恵にしていく力」を、創造する必要があるのかもしれない。

全国大会に参加して

都万中学校 田中 英子

何回目の全国大会だろう・・・数えながら朝一番の高速船レインボーに乗り、徳島へと向かいました。今年は例年のない猛暑で、四国徳島はさぞ暑いだろうと覚悟していましたが意外にもさわやかな風が私たちを迎えてくれました。

近年、教育界が様々な変換を遂げようとしています。その中で私たち事務職員を取り巻く状況も刻々と変化してきています。その状態を感じながらも、職場の多忙さや離島に住んでいるということを言い訳に、講演会や研究会などの学習する機会から遠ざかっていました。今回、久しぶりに全国大会に参加して、全国の仲間が自分たちの職について真剣に考えていることを肌と感じ、とても刺激を受けました。

初日の全体会では、共同実施についての経緯から、今回のテーマ「地域学校事務室へ」と目指す方向性までじっくりと考えることができました。2日目の分科会では、地域との協働による学校づくりと、共同実施の新たな展開について話を聞くことができました。私自身の現在の職務とは大変かけ離れている感は拭えないけれど、根底にある「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」という我々の目的を見据え、まずは、自分の出来ることから一歩踏み出してみようと思いを新たにしました。

そして最終日。株式会社いんどり社長横石氏の記念講演。「駄目だ、駄目だ」の負の連鎖を断ち切りマイナスをプラスへという「プラス思考」という言葉を胸に帰路に着きました。来年は、隣の鳥取県で開催の全国大会。是非、参加しようと思っています。

事務歳時記

久屋小学校
森山 訓

全国のパワーあふれる夏の風

久しぶりに全国事務研究大会に参加する。分科会では、全国から集まった仲間が、熱気に満ちた意見を交わしている。ここでもやはり話題は共同実施である。暑さを吹き飛ばすような、全国のパワーを感じながら、夜の研修へ出かける。

黒板のいま深緑 休暇明け

夏休みも終わり、学校は二学期が始まる。静かだった校舎に、また子どもたちのぎやかな声が帰ってくる。日焼けした顔から、夏休みの楽しかった思い出が溢れている。教室では、きれいに拭かれた黒板が出番を待っている。

地産地消 給食に出る 秋の味

自校方式の給食だと、けいこう手のこんだ献立が出る。最近では、地元でとれた食材を使って、その土地ならではの料理を食べることもできる。地産地消は、給食に限ったことではない。しかし、脱脂粉乳を知っている世代は少なくなった。

小春日や 校舎はいつも南向き

ほとんどの学校は南向きに建てられているようだ。太陽が東から昇り、西へ沈んでいく間、太陽の光が窓から教室へ入りやすくするためである。右利きが多いため、光は左側から入ってくるようにしている。左利きは不利である。



学校財務ウイークに何か取り組みましたか?



アクションをおこせなかった人も...

あなたの学校の財務に関する情報発信をしてみましょう

ステップ1

- 担当している会計の点検をし、中間決算を出して職員会で説明する。
- 今年度購入した備品について事務便り等で職員に周知する。
- これまで行った宮蔵について場所・状況・金額など写真と一緒に掲示する。

ステップ2

- 行事別経費一覧表を作成し職員と一緒に考える。
- 学校の電気・灯油・水道使用量について環境に関する授業などで説明し、その使い方について考える。
- PTA行事にあわせ、子ども達の学習に必要な経費について掲示をし、適正な公費負担・保護者負担について一緒に考える機会とする。

ステップ3

- 校内のあらゆる会計の洗い出しをし、全ての会計の適正な執行方法について提案する。
- 学校のフルコストを調べ、人件費を含めたコスト意識を高め、適正な公費私費負担について考える。
- 地域の公民館まつり等で学校の財務状況を知らせるコーナーを作って、地域の方に学校の教育環境充実に関心をもってもらう。

できることから始めてみよう!!

【編集後(前)記】 ただいま9月の月上旬...とにかく暑い!この異常な天気、いつになったら涼しくなるのか...あと3カ月もすれば雪が降る?そんな...想像ができない。もしかしら、このまま1年が経ったりして... 嫌だ...そんな嫌嫌...。そんな気持ちの現在の私です。でも2学期をふと考えると、季節は崩しい残暑から紅葉の秋、そして白銀世界の冬へとうつりかわっていくのですよね...これって、すごく素敵...。もしかして今、皆さんと紙面で出会っている頃は、寒くなったね~とか言っているのでしょうか...。 D,I



Vol. 17 おたん Nice to meet you!!



久屋小学校事務職員研究会